

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(千葉県 平成30年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名) ①	メ ニュー ① 成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メ ニュー ② 成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分 (円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
			計画時 (平成 25年)	1年後 (平成 26年)	2年後 (平成 27年)	3年後 (平成 28年)	目標値 (平成 29年)	達成率			計画時 (平成 25年)	1年後 (平成 26年)	2年後 (平成 27年)	3年後 (平成 28年)	目標値 (平成 29年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他					
一宮町、白子町	農事組合法人長生フロンティアファーム	野菜(トマト) 反収を15%増加	11.1t (31.4t/0.283ha)	—	9.7t (77.1t/0.794ha)	11.6t (92.06t/0.794ha)	12.9t (102.4t/0.794ha)	27.7%	トマトの反収が0.5t増加した	野菜(トマト) 契約出荷率を31ポイント増加	45%	—	30%	75%	76%	96.7%	トマトの契約出荷が30.0%増加した	・ガラス温室(5,184㎡) ・養液栽培施設	216,000,000	100,000,000	0	0	116,000,000	平成27年5月29日	反収については、病気の多発を受けて一斉植え替えを行ったため、6月から8月までの収穫が無く、目標まで届かなかった。 契約出荷については安定的に取り組んだが、わずかに目標達成には至らなかった。 今後は、課題となっている反収増加に引き続き取り組むとともに、契約出荷の目標達成を早急に実現する。	28年度は病害虫の発生により十分な収穫期間を確保できず、収量が安定しなかったため反収増加目標の達成が不十分となった。他方、契約出荷率増加は達成が間近となった。引き続き目標達成に向けた必要条件となる栽培技術の向上に注力し、改善を図る必要がある。		

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー① 成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						メニュー② 成果目標の具体的な実績① (対象作物・畜種等名)②	メニュー③ 成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						メニュー④ 成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
			計画時 (平成25年)	1年後 (平成27年)	2年後 (平成28年)	3年後 (平成29年)	目標値 (平成29年)	達成率			計画時 (平成25年)	1年後 (平成27年)	2年後 (平成28年)	3年後 (平成29年)	目標値 (平成29年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他					
八千代市	千葉北部酪農農業協同組合	乳業再編等整備(効率的乳業施設整備) 工場の再編により、1日当たりの飲用向け生乳処理施設の平均処理数量が5%以上増加。	104.8t	130.9t	132.5t	136.5t	126t	150%	平均処理数量は31.7t(30.2%)増加している。	乳業再編等整備(効率的乳業施設整備) 工場の再編により、都道府県内の学校給食用牛乳供給割合が50%以下	10.8	15.7	15.4	14.3	13.7	121%	県内への学校給食用牛乳供給割合は14.3%となっている。	乳業工場解体工事、1か所	37,800,000	10,903,000			26,897,000	平成27年12月26日	問題なし		工場再編による機能の集約化が進み、平均処理数量、学校給食用牛乳供給割合共に成果目標を達成した。	

- 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
- 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
- 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
- 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。